

【授業テーマ】小学校第6学年歴史的分野「新しい日本，平和な日本」における知識・技能を習得し，活用する学習指導の工夫

第6学年1組 社会科学学習指導案

指導者 松田 隆男

1 単元名 新しい日本，平和な日本

2 目標

- (1) 日本国憲法やオリンピックの開催などに関心をもち，聞き取り調査をしたり，資料収集をしたりして，意欲的に調べようとする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 国民の努力によって我が国が復興・発展したことや，オリンピックを契機に国際社会の中で重要な役割を果たすようになったことを考えることができる。 【思考・判断】
- (3) 身近な人からの聞き取り調査をしたり，映像や写真，文章などの資料を効果的に活用したりして，戦後の我が国の復興と発展の様子について調べ，調べたことをノートや歴史新聞に工夫してまとめ，他の児童と伝え合うことができる。 【技能・表現】
- (4) 戦後，我が国が民主的な国家として出発し，国民生活が向上したことや，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かる。 【知識・理解】

3 単元について

本単元では，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などを取り上げ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることをねらいとしている。日本国憲法については，戦後民主的で平和主義的な憲法が制定されたことを調べ，戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かるようにすることである。オリンピックの開催については，アジアで初めて開催された東京オリンピックを取り上げ，国民の努力によって我が国が復興・発展したことやオリンピックを契機に国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにすることである。そして，平和を願う日本人として，世界の国々の人々と共に生きていくことについて考えることができるようにすることである。

表1 社会科の授業に関する実態調査（平成21年9月15日実施 24人）

1 授業中，めあてや課題を意識して学習していますか	はい 41.6%	やや 45.8%	あまり 8.4%	いいえ 4.2%
2 考えたわけを友達や先生に伝えようとしていますか	はい 25%	やや 37.5%	あまり 29.1%	いいえ 8.4%
3 友達が考えた理由を聞こうとしていますか	はい 16.6%	やや 25%	あまり 50%	いいえ 8.4%
4 友達の考えが同じか違うかを知ろうとしていますか	はい 50%	やや 25%	あまり 16.6%	いいえ 8.4%
5 社会が難しい・苦手だと思うわけは何ですか	覚えることが多い 58.2%	どの程度・何ができればよいか分からない 25%	調べ方が分からない 8.4%	特にな 8.4%

表1の調査1からは，社会科の授業においては85%以上の児童がめあてや課題を意識して授業に取り組んでいることが分かる。実態調査2，3からは，根拠となる自分の考えや思いを发表或し友達とかかわり合って学習を進めたりすることが苦手な傾向が見られる。一方，実態調査4からは，友達と自分の考えが同じかどうかとても気にしていることが分かる。実態調査5からは，人物名や用語など覚えることを負担と感じていたり授業の終わりにどんなことが分かっていたりできたりすればよいかの見通しを持っていない。その理由として，調べ学習において自分の考えをもつための知識・技能の習得が十分でないことや調べた後の話し合いの視点が明確でなかったことが考えられる。また，日頃の授業からは，社会科が好きな児

童が多い一方で、知識が豊富であるがために先に答えてしまい、まわりの子どもたちの学習意欲をそいでしまう児童や、板書を写すだけで自分で考えようとしないう児童が数人いる。

そこで、本単元では、学びの手引きやワークシートを使って戦後、国民生活や外国との関係がどのように発展してきたかを調べ、基礎的・基本的となる知識を習得させる。戦後の豊かで平和な時代に生まれた子どもたちは物が溢れ、平和であることが当たり前になってきている。もちろん、我々自身が戦争の体験のない世代であり、祖父母も戦争の体験のない世代になりつつある。このような状況のもとで、地域の身近なお年寄りの戦争体験や戦後の復興について話を聞く機会を持ち、心を触れ合わせながら戦争と平和について学ばせていきたい。さらに、映像や写真、文章などの資料をもとに、単元を貫く学級全体の学習問題と児童一人一人の学習問題を設定し、追究していく。習得した知識や技能を活用する場合は、自分の学習問題を新聞の見出しとし、新聞を書くための情報収集（既存知識の活用、資料活用）と新聞作りのための話し合いを行う。単元のまとめでは、話し合いをもとに、自分はこれからどう社会とかかわっていったらよいか考えたことを新聞の社説に書く活動を行う。これらの学習活動を、振り返りカードを通した児童との意見のやりとりの中で、「何がどの程度」実現できているかを見取っていきたい。

4 ねらいに迫るための具体的な手立て

(1) 知識・技能を習得するための学習問題の工夫

学習問題とは、児童に問いや疑問をもたせ、学習活動を方向付けるものである。すなわち、問題解決のための内容と方法が明確になると、学習問題が自分の問題となり、意欲が高まっていく。そのために教師は、児童と共に学習問題をつくり調べる計画を立て、問題解決の見通しを持たせることにより、学習への意欲を持続させたい。

本単元では、地域の身近なお年寄りから戦後の復興・発展について話を聞く場を設定することで児童の学習への関心や意欲を高めた上で、児童一人一人の学習問題をつくらせたい。追究していく過程では、単元を貫く学習問題「戦後日本は、どのようにして復活を遂げたのか。」との関連を意識させたい。また、問題づくりの場や問題解決的な学習を進めていく中では、学びの手引きやワークシートを積極的に活用して、基礎・基本となる知識・技能を習得させたい。

(2) 習得した知識・技能を活用する表現活動

地域の身近なお年寄りから戦後の復興・発展についての話を聞いたり、映像や写真、文章などの資料を活用して調べたことをペアやグループで行う話し合い活動では、調べたことが友達と同じかどうかとても気にしている不安を取り除くことにつながる。学級全体での話し合い活動は、単元を貫く学習問題「戦後日本は、どのようにして復活を遂げたのか。」について、友達とかかわり合い話し合うことで、自分なりの考えを深めることにつながる。

学習のまとめでは、児童自身がその時代に身を置いて、その場にいたらどうしたかを考えさせ、話し合いをもとに、自分はこれからどう社会とかかわっていったらよいか考えたことを新聞の社説に書く活動を行う。

(3) 児童の活動を見取る振り返りカード

話し合い活動を通して、自分の考えを改めて確認したり自分の考えの変容に自覚できたりすることが問題解決的な学習においては大変重要である。そのために児童は、学習計画に基づいて、振り返りカードに問題解決の足跡を記録していく必要がある。また、教師は、振り返りカードを通した児童との意見のやりとりの中で、「何がどの程度」実現できているかを見取り、授業改善に結びつけていく。

5 学習計画及び評価規準（8時間取り扱い）

〔関〕・・・関心・意欲・態度 〔思〕・・・思考・判断 〔技〕・・・技能・表現 〔知〕・・・知識・理解

次時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
1	1 戦争が終わった後、東京オリンピックを開くまでに発展した日本がどのように変わったかをワークシートを使って調べる。	〔技〕戦後から東京オリンピック前後までの大きな出来事を年表や資料使って調べ、大まかな見通しを持つことができる。（発表、ワークシート）
	2 身近なお年寄りから聞き取り調査して、戦後の日本の変化や発展の様子をとらえる。	〔関〕身近なお年寄りに当時の生活の様子や思いなどを積極的に聞き取りを行うことができる。（観察、ワークシート）
	3 写真資料や地域の身近なお年寄りからの聞き取りをもとに、戦後の日本の変化や発展について関心を持ち、学習問題をつくり、調べる計画を立てる。	〔関〕資料や地域の身近なお年寄りからの聞き取りをもとに学習問題を作り、調べる計画を立てている。（観察、話し合い、振り返りカード）
2	4 日本国憲法の制定、戦後の諸改革について調べて、政治がどのように変わったかを発表し合い、学習問題について話し合う。	〔思〕日本国憲法と戦後の民主改革を関連づけながら、戦後日本がどのような国として新しく出発できたのか考えることができる。（観察、発表）
	5 電化製品の普及や交通機関の発達などを調べて、国民生活が向上した様子を発表し合い、学習問題について話し合う。	〔思〕産業の発展について、人々の努力と関連づけて考えることができる。（観察、発表）
	6 講和条約の締結や国際連合への加盟について調べて、国際社会に復帰した日本の役割を発表し合い、学習問題について話し合う。	〔思〕国際社会への復帰について、人々の努力と関連づけて考えることができる。（観察、発表）
	7 東京オリンピックのようすを調べて、オリンピックが日本で開かれた意義や国民の思いを発表し合い、学習問題について話し合う。	〔思〕オリンピックの開催を契機に日本が国際社会で重要な役割を果たすようになったことを、人々の努力と関連づけて考えることができる。（観察、発表）
3	8 今までの学習をもとに、考えの交流を行い、これからの日本が目指すべき方向や解決すべき課題について世界とのかかわりを歴史新聞にまとめる。	〔知〕戦後の発展や国民生活の向上、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かり、これから進む道を提案できる。（話し合い、新聞）

6 本時の指導

(1) 目標

身近なお年寄りからの聞き取りや写真、文章などの資料から戦後の日本の変化や発展に関心を持ち、一人一人が学習問題をつくり調べる計画を立てることができる。

(2) 活用の視点

聞き取りや一人調べで習得した知識を活用して、友達と話し合いながら、自分の考えを深め、学習問題として表現する。

(3) 準備・資料

スマートボード、PC、プロジェクタ、振り返りカード

(4) 展開

※ 配慮を要する児童

学習活動・内容	指導上の留意点及び評価
1 単元の学習問題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">戦後日本は、どのようにして復活を遂げたのか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入段階として、単元を通じた学習問題を確認することで、「戦前と戦後の違い」や「人々のくらしが戦前より良くなったこと」を意識させ、一人一人の学習問題づくりに結び付ける。
2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">身近なお年寄りからの聞き取りや資料から、戦後の日本の変化や発展について学習問題をつくり、調べる計画を立てよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習を想起させ、本時の学習課題を確認したうえで授業に取り組めるようにする。 お年寄りからの聞き取りや資料の活用などを促す。その際、ICT機器を活用して、資料を効果的に提示したい。
3 見通しをもつ。 《内容》 ・政治がどのように変わったか。 ・国民生活が向上した様子。 ・国際社会に復帰した日本の役割。 ・オリンピックが日本で開かれた意義	<ul style="list-style-type: none"> 前単元までの学習を生かし、見通しには、内容と方法があることを確認する。 内容については、教科書やプリントを活用して確認する。 方法については、前単元までの学習を想起さ

や国民の思い。

《方法》

- ・教科書・資料集で調べる。
- ・図書室を利用する。
- ・インターネットで調べる。
- ・インタビューをする。

- 4 各自、学習問題づくりに取り組み、作った問題を調べる計画に書く。
《予想される学習問題の例》
- ・戦後、政治はどのように変わったのかを教科書・資料集で調べる。
 - ・冷蔵庫や洗濯機、カラーテレビが買えたときはどんな気持ちだったか、家の人にインタビューをする。
 - ・どのようにして国際社会に復帰できたのかを図書室を利用して調べる。
 - ・東京オリンピックが開かれたとき、人々はどんな気持ちだったろうか、インターネットで調べる。
- 5 ペアやグループ内で話し合う。
- (1) つくった学習問題を互いに検討する。
- (2) グループ内で検討した、学習問題を短冊に書き、黒板に掲示する。
- 6 全体で話し合う。
- (1) グループ内で検討された学習問題を発表する。
- (2) 各グループから出された学習問題が単元を通した学習問題と関連づいているかを検討する。
- 7 学習まとめをし、振り返りをする。
- (1) 話し合いをもとに、調べる計画に書いた自分の学習を見直し、学習を整理する。
- (2) 自己評価を記入し、各自が気づいたこと・わかったことをふり返りカードに書く。
- 8 次時の学習について確認する。

調べる計画に従って、学習問題を調べる。

せたい。

- ・ここでは、内容や方法については深入りしないようにする。
- 問題づくりの留意点として、①何を②どんな方法で調べるのかを押さえたい。
- ・第1時で使ったワークシートやインタビューで使った資料を積極的に活用させたい。
 - ※ なかなか進まない児童には、問題づくりのヒントの文例に内容と方法を書き込むと学習問題が出来ることを知らせる。
 - ・お年寄りからの聞き取りから、当時の思いにも着目できるようにしたい。
 - ・児童の興味・関心を大切にして、今後の追究に結びつく学習問題づくりにしたい。
- つくった学習問題を友達に検討してもらうことで、自信のない児童の不安を取り除くことにつなげたい。
- ※ 誰も1つは書けるようグループ内で支援し合う。4つの内容に対して、どのグループも1つ学習問題を掲示できるようにする。
- ・情報交換の場であることを確認する。
 - ※ 自分たちの発表だけでなく、他のグループの発表をよく聞いて、自分の考えと比較したり、関連付けたりする。必要な場合は、メモをとるよう個別指導をする。
 - ・自分たちにはない良い点を積極的に認め、賞賛できるようにしたい。
 - ・単元を通しての学習問題と各自がつくった学習問題が、どの事象と関連しているかを考え、一人一人が自分の学習を吟味したり、振り返ったりするきっかけになるよう助言する。
 - ・話し合いの中で、当時の人々の思いにも着目できるようにする。
- 話し合いを参考に、自分のつくった学習問題をもう一度見直し、必要な場合は修正をして、調べる計画を完成させる。
- [関] 地域の身近なお年寄りからの聞き取りや資料をもとに学習問題をつくり、調べる計画を立てている。
(観察、話し合い、振り返りカード)
- ・学習のまとめとして、戦後の日本の発展に関心を持ちこれから進んで調べていこうとする思いを自分の言葉で書かせたい。
 - ※ 記入に戸惑っている児童については、参考になった意見や疑問など書かせ、次時の学習の支援として生かしたい。
- ・自分でつくった調べる計画を確認することで、意欲を継続させたい。
 - ・次時まで、自分の計画に基づいて調べられるよう、振り返りに目を通してコメントを入れる。